

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	105,532	小児救急医療拠点病院の運営費に対する補助金
合計	105,532	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）

第3部－第2章－第10節小児医療対策－7今後の施策

『小児重症患者を、各圏域で24時間受け入れ可能な体制を確保するため、小児救急医療拠点病院の運営に対し財政的支援を行います。』

(2) 国・他県の状況

- ・小児救急医療拠点病院の運営費に対する補助については、（対象となる施設が無い県を除き）ほぼ全ての都道府県で実施されている。

(3) 後年度の財政負担

- ・小児救急医療体制の安定的な運営の為、引き続き、支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・小児の二次救急医療体制の整備は、市町村域を超えて、より広域的に取り組むべきものであること、また、保健医療計画上も小児救急医療拠点病院の運営への支援を明記していることから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 小児救急医療拠点病院へ運営費を補助することにより、小児重症救急患者を必ず受け入れる二次救急医療施設を確保することができた。今後も継続して補助を行う予定。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

小児重症救急患者を必ず受け入れる二次救急医療施設を確保することが目的の事業であり、小児救急患者受入数などの指標設定にはそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ・取組内容 小児救急医療拠点病院（4病院）に対し、運営費補助金を交付した。 ・成果 該当の各病院において小児救急医療体制の確保が図られた。
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	小児の二次医療体制確保のために不可欠な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	令和2年度においては、4病院に対し運営費補助金を交付し、6,760人の小児救急患者の受け入れを行った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	4病院が、5圏域をカバーしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 小児救急医療体制を確保、継続するための職員の確保が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 小児の二次救急医療体制確保のため、継続すべき事業である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	